

- 発行 -

みどりの街しんぶん編集委員会  
連絡先 / 090-5651-0259 (佐藤秀代)

第5号

平成25年10月発行

## 蓮池よみがえる！

### 春にはショウブ満開

芦原公園  
横

箕面にはたくさんのため池があり、田植えの季節になると周辺の田んぼに水を供給しています。

その池の一つに「蓮池（ハスイケ）」と呼ばれているため池があります。箕面5丁目の「芦原公園」と「なか幼稚園」の間にある池ですが、周辺が雑草に覆われていることが多くあまり目立ちませんでしたので、そこにため池があることに気づいておられない市民も多いのではないのでしょうか。ところが、昨年周辺住民からの要望も

### 住民の願い開花

夏を過ぎるとまた雑草に覆われて以前の姿に戻ってしまいましたが、今後は定期的に草刈をしたり、市も協力して不要な樹木も伐採されるようです。住民の願いどおり、数年後には周辺の環境にマッチした姿になることでしょう。

この蓮池は、周辺が住宅地化されて耕作地が減少したために、現在はため池としての機能はほとんど果たしていないようで、水も少なく沼のような状態になっており、隣接する幼稚園では蚊が発生するので困っているという話もあります。

箕面市の都市計画では芦原公園の一部に組み入れられる予定であり、水生動植物と共生しながら市民が憩える水辺空間になることが期待されます。



5月には池一面に黄色いハナショウブが咲きました  
(奥の建物はなか幼稚園)



道路側からは草が生い茂り、ゴミが目立ちました

あって、蓮池を管理している水利組合が周辺の雑草を刈り取ってくれました。雑草の中には多くのゴミが捨てられていましたが、主なゴミも掃除してくれました。

そうすると芦原公園側や周辺の道路から池の中を見わたすことができるようになり、春には池いっぱい黄色いハナショウブが咲いている様子が見られ、初夏には葦やガマが茂って、その中をカモが泳いでいる様子も見られました。





## じえ じえ じえ のお引越し

(粟生外院に住んでおられる方の提供写真です)



箕川の「里の橋」下流でこの春偶然、かるがも一家の引越しが目撃されました。母がもを先頭に引いた12羽のヒナの行列。



ところがまもなく下流に12羽ほどの小さな「滝」が…



母がもが、まず飛び降りて見せ「さあ、みんなも降りてらっしゃい」でも、ヒナたちは「じえ、じえ、じえ」「こわいよー」と尻込みをしてくだれも飛び込もうとしません。



土手伝いに上がってきた母がもは、もう一度ジャンプして「ねっ、全然こわくないでしょー」。やっと決心したのか、12羽は順番に転げ落ちるように飛び降り、無事引越していきました。



## みのお園芸ファーム お花満開

マリーゴールド、サルビア、ひまわり…



この春スタートした「みのお園芸ファーム」は、会員がプラグトレイでタネから育てた千日紅、マリーゴールド、サルビア、アスター、ひまわりの苗を古井戸公園（西宿）の実習花壇に植えました。いずれの苗も順調に育ち、すでに黄、白、赤、オレンジなど色とりどりの花を咲かせています。いまは葉ボタンに挑戦しているそうです。



また北側花壇（約35㎡）が手狭になったため、公園みどり課の協力を得て、このほど南側にもほぼ同じ広さの花壇を作りました。15人の会員が毎日交互に散水したり雑草を抜いたり手入れに余念がありませんが、将来は花苗を分ける計画もしているようです。

なお、同ファームでは、タネから草花を育てたり、施肥のコツ、花づくりのノウハウと一緒に実習する方を募っています。

みのお園芸ファーム連絡先  
(090-9092-3909 上田芳弘)



## 樹齢200年のエノキの大木は残った!

隣地が協力して…



エノキの大木は、木の上部の幹と枝との切り詰め、大きな複数のウロ（幹の穴）の治療など保護対策がとられました

箕面市の西部の旧家に残る樹齢200年ともいわれるエノキの大木が、一時期は隣地の開発で存続が危ぶまれながらも、関係者の努力で保全されました。

この大木は箕面市の「保護樹木」に指定されていましたが、昨年の秋に根元間近に迫る隣地が売りに出され開発で根が約半分ほど切断されるおそれがありました。

大木の持ち主の要請を受けた箕面市やコーディネイト組織・プロジェクトみどりが間に入り、隣地の所有者（売り主）・買い主・不動産業者と何度も話し合った結果、最終的には樹木医のアドバイスもあり新しい住宅は大木から3mほどセットバックして建てることで合意しました。そして隣地には大木と共生する形で、住宅が建てられました。こうしてエノキの大木は、今年の猛暑の夏を無事に乗り切り守られました。



## センダンの大木は伐採

昨年の秋以来、保護か伐採かを巡って、地元自治会などの住民と大阪府池田土木事務所との間で話し合いが続いていた、箕面市瀬川の箕面川と石澄川との合流点にそそり立つセンダンの大木については府が9月24日に伐採に踏み切りました。

センダンの大木の立つ護岸に既にひび割れが数か所入っておりいつまでも放置できないことや、大木を支える根が伸びているとみられる背後の民有地で近く開発（住宅建設）を行うとの連絡があり、工事に伴い根が切られるので大木の保護自体が無理になるとの判断によるものです。

今後は付近一帯に残る竹林を含む川辺林の保全・適正管理・活用など、「蛍の飛ぶ親水・散策の場」をキャッチフレーズに住民と府・市とが協議の場を設け環境整備に協力して取り組むことで一致しました。

## 第4回お花とみどりの街めぐり参加者募集!!

\* 西宿のお宅のお庭を眺めながら街歩き!



2013年11月9日(土) ※小雨決行  
オレンジゆずるバス「今宮4丁目」東行き停留所付近  
午後2時15分集合～午後3時半解散  
(お問合せ先) 090-5651-0259 (佐藤)

# みどりの掲示板

## 通学路に住民手づくりの花壇

南小に百日草、ゼラニウム、マリーゴールド...

南小学校（桜6）の北側通学路に、住民が7年ほど前から花壇を手づくりで掘り今では80mにわたって、四季折々、かれんな花を咲かせています。

花壇は学校のフェンス外側の80センチほどの空地を利用して作られています。通学路に面した住民が花の苗を植えたのが始まりで、5年ほど前からは6～7人の人たちが本格的に四季の花々を植え始めました。今では1000円ずつ分担し合ってタネや腐葉土を買い求め、花壇が一年中にぎあうよう工夫しています。登校中の子どもたちがポピーや百日草、ゼラニウムの名前を言い当てあったり、そっと香りを楽しむ姿もよく見られるそうです。

世話を続けている木村晃さん、山中俣代さんらは「子どもたちが花を眺め自然のうつろいを感じてくれれば世話を続けている甲斐もあります」と話しています。木村さんらもこの花壇を通して一層親しくなり一緒に日帰り旅行なども楽しんでいるそうです。



## リンゴの実に患者さん and 和む



巽今宮病院 で色づく 20本



巽今宮病院（今宮3）の駐車場に植えられた20本のリンゴの木の实が赤く色づき、患者さんを楽しませていきます。



リンゴの木は7年前にこの病院がオープンしたときにハナミズキやヤマモモ、ユズ、ドクダミなど約20種類の木と一緒に植えられました。いずれも薬効のある草木ですが、なかでもリンゴは初春にピンクの花が咲き、初夏に青い実をつけ、秋にかけ次第に赤く色づくので四季のうつろいが楽しめます。この病院は療養型なので長期入院されている患者さんが多く、とくにリンゴは人気があるそうです。

看護師さんに付き添われて散歩していた女性は「少しずつ染まっていくなリンゴを眺めていると、なにか励まされている感じがするんです。お見舞いに来てくれた友達との話題もきまってリンゴから始まるんですよ」と10cmほどの実をいとおしそうに手に包み込んでいました。

### Column

### 景観は みんなの資産です

箕面の景観を考えようという仲間十数人が、広島県福山市の鞆の浦を訪れ、埋め立てを巡って景観問題を抱えている住民の皆さんの声を直説聞いてきました。

鞆の浦は千年以上前から「潮待ち港」として栄え、江戸期に作られた波止、雁木、常夜燈がいまも残され利用されています。さらに町内には江戸・明治時代の面影を残す町屋も多数残されています。しかし、広島県と福山市は、地域活性化の一環として平成19年国土交通省に、この湾内19000㎡を埋め立て、道路用地、駐車場用地を造成、さらに180mの橋を架け県道のバイパスを通す事業計画を申請。これに対して住民の一部が「工事によって港や町の景観が大きく損なわれる」と、県・市を相手取って計画そのものを差し止める行政訴訟に踏み切ったのです。

4年前に出た広島地裁の判決は「鞆町内の住民は景観利益を日常的に享受しており、その権利は景観法上保護されるべきであり」とし、計画を差し止めました。

この判決で県は方針を転換しましたが、市はまだ道路建設計画そのものを取り下げていません。原告代表らが経営する飲食店の2軒隣の民家には「今すぐ道路建設を実現しよう！」と大書した看板も立っており、この訴訟の複雑さとむづかしさを物語っているように思いました。

箕面の街は比較的自然や景観に恵まれています。住民と自治体が訴訟にもつれ込むような事態を避けるためには、日ごろから充分に意思疎通できる場を持ち続けたいものです。

サポーター大募集!!

「みどりの街しんぶん」は、花とみどりあふれる箕面にしようと、年3回発行しています。近くにこんなきれいな花が咲いているよ、緑のすてきなスポットがあるよ、などの情報をどンドンお寄せください。

情報ご連絡先 shimin.puroj.midori@gmail.com 090-5651-0259 (佐藤まで)

